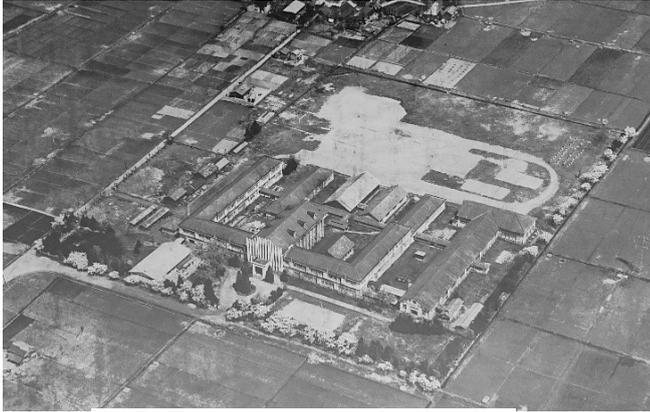


# 在京会津高校同窓会 創立 70 周年記念誌

令和 3 年（2021） 9 月

在京会津高校同窓会創立 70 周年記念誌発行委員会



旧校舎全景



現校舎全景

### 會津中學校校歌

尾上 柴舟 作歌  
萩原 英一 作曲

- 一、駒のいななき砲の音  
幾世の夢となり果てて  
風も声なき若松の  
市の光の我が校舎
- 二、芦名蒲生の昔より  
松も翠の色変へず  
聳ゆる城を仰ぎつつ  
學べば躍る心かな
- 三、高き理想を磐梯の  
山の高根に比べつつ  
深き心を猪苗代  
底なき海にたぐへなん
- 四、飯盛山にしまれる  
若き義人も出でて見よ  
君と臣との大道を  
世に示さんはただ吾等

### 会津高等学校校歌

柳澤 健 作詞  
古関裕而 作曲

- 一、飯盛山の桜花  
鶴ヶ城趾の秋の草  
会津平野に行く雲は  
移り変れど若人の  
理想は永遠に変らじな
- 二、難きを忍び易に就かず  
試練は神の恵みぞと  
正しく強く朗らけく  
生きなん道を辿りゆく  
若き世代の誇りこそ
- 三、名も若松の学び舎に  
科学を究め美を探り  
高き文化の姿をば  
岩にきざまん熱意もて  
この世の華を咲かしめん
- 四、不易の望みそこにあり  
磐梯の峯高らかに  
猪苗代の湖澄むところ  
会津高等学校の  
歴史を創る我の幸

### 学 而 会 歌

- 一、緋緋鎧う若武者が  
春紅の花をあび  
黄金の薨銀鞍に  
右手をかざして仰ぎけん
- 二、秋旻高し緑水に  
血汐の色を漂わし  
巨墨に纏ふ蔦葛  
あ、いかにせん我が友よ
- 三、昔の気魄跡もなく  
華奢の風のみすさぶとき  
飯盛山の花吹雪  
あ、壮烈の十九士
- 四、学びの海にかじまくら  
波路はるかに渡る身の  
心弱くてかなうべき  
男児の意気に進まばや
- 五、健児一千足並めて  
鶴城頭に夜もすがら  
磐梯山の月影に一  
歌うも高し学而会

## 目 次

在京会津高校同窓会創立70周年記念誌発刊に際して	1
在京会津高校同窓会会長挨拶	1
在京会津高校同窓会の歩み	2
平成19年（2007）	2
平成20年（2008）	3
平成21年（2009）	4
平成22年（2010）	5
平成23年（2011）	7
平成24年（2012）	8
平成25年（2013）	10
平成26年（2014）	11
平成27年（2015）	12
平成28年（2016）	13
平成29年（2017）	14
平成30年（2018）	15
平成31年（2019）	16
令和2年（2020）	18
令和3年（2021）	18
年会費の推移	19
在京会津高校同窓会催事活動の推移	21
【文化講演会】	21
【会津歴史探訪の旅】	23
【川島杯ゴルフ大会】	26
【いも煮会】	27
【歩こう会】	30
【囲碁大会】	32
【麻雀大会】	34
【世代交流会】	35
【会津若手人材育成塾】	36
現役員	38
会則	38
在京会津高校同窓会70周年記念誌発行にご協賛いただいた方々	40

## 在京会津高校同窓会創立70周年記念誌発刊に際して

在京会津高校同窓会は母校創立60周年の翌年にあたる昭和26年（1951）に発足しました。令和3年（2021）は発足から70年目にあたります。これを機に記念誌を発行することになりました。設立に至る経緯から55年の歩みは平成18年（2006）に発行された「在京会津高校同窓会創立55周年記念誌」に掲載されています。なお、「在京会津高校同窓会創立55周年記念誌」は新たに求めることはできませんが、在京同窓会のホームページ（URLは<http://zaikyo-aizu.sakura.ne.jp/>）に収録していますので、こちら（メニューの同窓会会報→創立55周年記念誌）をご参照ください。このため70周年の記念誌は、それ以降について編集いたしました。

## 在京会津高校同窓会会長挨拶

### 70周年記念誌に寄せて

#### ——人の輪を生かそう——

会長 大越 康弘

今年是在京会津高校同窓会創立70周年を迎えた。創立は昭和26年9月に上野精養軒で創立総会が盛大に行われた。その後同窓会活動は盛大な総会を中心に継続して続けられ、平成18年に創立55周年を迎えて、「創立55周年記念誌」発行する運びとなった。今回の「70周年記念誌」は、その後の15年間の同窓会活動を纏めるに至ったものである。

同窓会の目的は会員相互の親睦を密にすることと同窓会会則に規定しているが、これは何も会員同士が単に仲良くすることではない。会員同士が切磋琢磨し、相互に学びあい、そのことによってそれぞれの会員の人生を豊かなものにするにある。この意味の相互親睦を深めるためには、先ずは人と交わらなければならない。人は一人で生きることが出来ず、他人から教えられ、助けられて初めて生きていけるものであり、そのため人に感謝し、社会に恩返しをしなければならないということは、これまで古今東西でことわざ、格言で言い続けられてきたことである。このことは、今年の東京オリンピックのメダル受賞という栄光者がいろんな人に助けられて獲得することができたと感謝を述べていることから頷けることだ。

ただ、我々が生きている間に会う人には限りがあり、だからこそ人の縁は大事にし、それを育て、生かしていかなければならないと教えられてきた。また、人との交わり、人の縁は待っているだけでは得られない。それを求めて掴み取る積極さが必要だ。格言に「小人は縁に出会って縁に気づかず、中人は縁に気づいて縁を生かさず、大人は袖すり合った縁をも生かす」という。

我々は、会津に育ち、同じ高校で学んだ者とし、同級、先輩後輩の人たちと交流し、絆を結び、自分のためにも生かしていくために同窓会という場、組織は大きな意義がある。だからこそ、同窓会はこのためにいろいろな活動を展開し、交流の輪を広げる努力をしてきている。だが、同窓会を運営している我々役員立場からすると、その努力にもかかわらず会員の参加は増えていない、若い人が入って来ない、我々の努力が足りないのかなとも思うが、底流にはその活動に共鳴し、参加しようという同窓会という存在が薄いものになってきているとも思う。同窓生の周りに



はもっと人の気持ち、関心を引き付ける仲間、組織が出て来ているということだろう。彼らにとって故郷という存在は、古い我々が抱いてきたようなものでは最早ないのかもしれない。そしてまた、今や人の目、耳、頭脳は日本そして世界に向けて開き、情報を吸収し、世界の広い地域の人々と交わり行動していかなければならないという大きなうねりの中にあり、会津という地域にあまりこだわってはいられない時代になっているのだろう。

それでも、先に述べたように一生に出会うことのできる人の縁は限られたものであるから、会津高同窓会は、やはり同じ郷土、自然、学校、文化のなかに育った仲間として、同郷の人の輪として会員が相互に交わり、情報を交換し、切磋琢磨する機会を提供すべき意義があると考え。同窓生の中には仕事、健康、家庭などのことで悩み、苦しんでいる方々がいる一方いろんな分野で活躍している大勢の先輩、専門家がいる。ゆえにこの同窓生集団は相互に交流し、支え合えば大きな共生社会集団となるものだ。このことを背景に、会員の皆さんが日ごろ悩み、直面している困難なことに対して「よろず相談コーナー」（仮称）を設けて同窓生の各分野の専門家が相談に応ずる構想を考えています。これにより、同窓会が会員の人生に少しでも役立ち、またこれにより同窓会活動に関心と参加が促進されるのではと思っています。いずれにしても在京会津高校同窓会は、今後におきましても同窓生の親睦と豊かな人生をめざして歩んでいきますので、よろしくご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 在京会津高校同窓会の歩み（創立56年目以降）

### 平成19年(2007)

#### 年度総会

- 開催日時 4月21日（土） 11：00～14：00 於 上野精養軒  
参加人数 187名（来賓含む）  
議案 \*規約改正 年会費が2,000円から3,000円へ、終身会費が30,000円から50,000円になった。

#### 主な出来事

- 9月9日 地元同窓会に川島会長、佐々木副幹事長、越尾副幹事長が参加。  
ルネッサンス中の島 参加者195名。  
東京地検八王子支部長・慶徳栄喜氏（高25回）が「会津を離れて、今、法曹という長い旅の途中にいます」という題で講演する。
- 9月23日 母校・詩碑「白虎隊」除幕式に川島会長・相羽副会長他2名が参加。
- 10月5日 在京野球部後援会が母校野球部にスピードガンを寄贈。



「白虎隊」 母校・詩碑

## 会報

第36号 4月21日発行。今号より表紙に吉川直佑氏（高13回）撮影の写真を掲載

- 寄稿 ・ 日中米鉄の三角形と周恩来を思う 佐治健治郎（中44回）  
・ 鳴門ドイツ館から京都黒谷・会津墓地を訪ねて 羽賀重弥（高2回）  
・ 相撲と神事 吉川雅晴（高8回）

第37号 11月15日発行

- 寄稿 ・ 追懐 武藤忠春（中53回）  
・ 川島会長の「自らを語る」を読み 羽賀重弥（高2回）

（注）在京会津高校同窓会会報は、ホームページ（<http://zaikyo-aizu.sakura.ne.jp/>）で第1号から最新号まで閲覧可能です。



第36号 猪苗代湖の白鳥



第37号 熊野神社 長床

## 母校の出来事

- 9月20日 剣舞歌「白虎隊」詩碑建立。  
やり投げで金子佑太郎 全国大会2位。

## 主な国内外の動き

- 5月 石川遼 KSBカップ優勝（国内ツアー最年少記録更新）。  
9月 安倍首相辞任。  
9月 福田康夫 首相就任。

## 平成20年(2008)

### 年度総会

- 開催日時 4月20日（日） 11：00～14：00 於 上野精養軒  
参加人数 194名（来賓含む）  
特記事項 総会に出席した剣舞会員の中で、4人の大学生が、長谷川守夫会高剣舞会会長（高10回）の朗々とした詩吟に合わせ、剣舞“白虎隊”を見事に演舞。会場から喝采を浴びた。

## 会報

第38号 4月20日発行

- 寄稿 ・ 安田講堂の山川健次郎先生胸像 羽賀重弥（高2回）

・四年間に四回箱根路を走って 江花晴三（高8回）

第39号 11月1日発行

寄稿 ・会津人ならニッカを飲め 羽賀重弥（高2回）



第38号 猪苗代湖・しぶき氷



第39号 慧日寺金堂

## 母校の出来事

- 3月28日 大規模改造工事北体育館完成。  
なぎなた 全国大会 団体5位 演技5位。  
全国選抜大会団体5位 試合2位。  
社会弁論 第13回ディベート甲子園全国2位 本田紘信。

## 主な国内外の動き

- 8月 福田首相辞任。  
北京オリンピック開催。佐藤敦之（高49回）マラソンに参加。  
9月 麻生太郎 首相就任。  
9月 リーマンショック。  
12月 ノーベル物理学賞：小林誠、益川敏英、南部陽一郎。  
12月 ノーベル化学賞：下村脩。

## 平成21年(2009)

### 年度総会

- 開催日時 4月5日（日） 17：00～20：30 於 上野精養軒  
参加人数 153名（来賓含む）  
議案 \*人事 任期満了に伴う役員改選が行われ、以下の新役員を選出した。
- |      |            |     |               |
|------|------------|-----|---------------|
| 会長   | 川島廣守（中45回） | （再） |               |
| 副会長  | 矢澤 久（中51回） | （再） | 太田靖敏（高1回）（再）  |
| 副会長  | 相羽史朗（高4回）  | （再） |               |
| 幹事長  | 本名正二（高16回） | （新） |               |
| 副幹事長 | 北村邦雄（高12回） | （新） | 円谷智彦（高18回）（新） |
|      | 越尾 修（高23回） | （再） | 米森公彦（高31回）（新） |
| 事務局長 | 阿部嘉之（高5回）  | （再） |               |

会計主任 佐野 剛 (高11回) (再)

会 計 長沼種臣 (高12回) (再) 福田喜正 (高21回) (再)

監 査 大竹隆輔 (高6回) (再) 早坂嘉朗 (高14回) (新)

特記事項 今年から、総会後のⅡ部に催し物を企画。

初回は真打の三遊亭圓福師匠こと大塚信氏 (高37回) の「落語」が披露された。

## 会報

第40号 4月25日発行

寄稿 ・磐越西線「川桁駅」いまむかし 濱津幸則 (高25回)

第41号 11月2日発行

寄稿 ・下北春秋 猪俣猶幸 (高2回)

・「此の思い」忘れてはならない 岡田忠久 (高4回)

・柳澤健と西條八十は生涯の詩友 玉川一豊 (高7回)

・宮古島の人頭税石 佐野忠義 (高9回)



第40号 大内宿



第41号 干し柿と酒林

## 母校の出来事

11月24日 耐震改修工事 (南校舎1期) 完成。

端艇 全国 男子シングルスカル 4位 慶徳賢人。

なぎなた 全国団体5位。

社会弁論 第54回文部科学大臣杯 全国青年弁論大会 奨励賞 芳賀光。

## 主な国内外の動き

1月 オバマ大統領就任。

9月 民主党政権 鳩山由紀夫 首相就任。

## 平成22年(2010)

### 年度総会

開催日時 4月4日(日) 17:00~20:30 於 上野精養軒

参加人数 155名 (来賓含む)

講演 「天文学者を目指すきっかけと幼少期の環境、彗星の謎について」

渡部潤一氏 (高31回)

もともと理科少年で、学研の「科学」の付録が楽しみでした。やっとの思いで天体望遠鏡を買った5年の時、そして天文学者という職業があることを知る。近くの本屋に入り、「天文台日記」という本が目にとまり即購入。1人の天文学者が淡々と星と向き合う日々を綴ったエッセイ集で、イメージが湧かなかった仕事が具体的に理解でき、漠然とした憧れは目標へと変わる。通学途中に日新館の天文台跡があり、そこで決意も新たに。彗星や小惑星などの研究で知られ、国際天文学連合惑星定義委員として、平成18年に冥王星が惑星から格下げを決定した1人で、国立天文台情報センター長の渡部氏が熱く語られた。

## 主な出来事

9月11日 母校創立120周年記念式典に川島会長他10名が参加。

第二部では、数学者でお茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦氏が「日本のこれから、日本人のこれから」という題で記念講演。

## 会報

第42号 4月発行

- 寄稿 ・会津中学五三会 渡部敬三（中53回）  
交友録 ・マラソンを語る 塚田博昭（高7回）  
・中国に友を訪ねて三千里 伊藤俊郎（高12回）

第43号 11月発行



第42号 天鏡閣



第43号 酒造末廣

## 母校の出来事

3月17日 プール目隠しフェンス設置工事完成。

9月11日 創立120周年記念式典挙行。

端艇 全国高等学校総合体育大会 男子ダブルスカル 第5位 小瀧和徳 五十嵐優。

合唱 第63回全日本合唱コンクール全国大会 銅賞。

社会弁論 第58回全国高等学校決勝弁論大会 個人 準優勝 芳賀光。

## 主な国内外の動き

6月 鳩山首相辞任。

9月 菅直人 首相就任。

12月 ノーベル化学賞：根岸英一、鈴木章。

## 平成23年(2011)

### 年度総会

開催日時 4月17日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 141名(来賓含む)

講演 「越冬つばめの誕生秘話、会津魂について」 石原信一氏(高19回)

作詞家・日本作詩家協会理事の石原氏が作詞した有名な「越冬つばめ」は、幼少期に母に読んでもらったオスカー・ワイルドの短編小説「幸福の王子」からの発想であること。会津から脱皮したいとの思いが祖父から植込まれた「会津魂」および会津高校で培われた「会津の心」が、いつしか自分の心や思いの柱になり、仕事でも縁が深くなっていることなど興味深く講演された。

特記事項 東日本大震災被災者への義捐金募金活動開始を決める。

### 主な出来事

2月28日 川島廣守会長卒寿祝賀会。

4月17日 年度総会において、東日本大震災被災者への義捐金募集活動を行うことを決定し、併せて震災復興支援委員会の立ち上げを決めた。

(1) 平成23年9月 義捐金100万円を福島県災害対策本部へ寄付。

(2) 平成24年 ①義捐金および会高ロゴ入りのポロシャツ、マフラータオル等のグッズの売上金等43万円を福島県東日本大震災被災児童支援基金に寄付。

②会高ロゴ入りのポロシャツ、マフラータオルを母校応援団に寄贈。

4月 在京同窓会事務局移転。

新宿区百人町の阿部事務局長の会社ニシギンから、連絡先として阿部事務局長自宅、打合せ会場場所として新宿区早稲田鶴巻町の加藤副会長の会社(株)山一印刷に移転。

9月11日 地元同窓会に本名幹事長、佐々木副委員長の2名が参加。

特別講演 福島復活への未来像と会津の役割 県立博物館長 赤坂憲雄氏。

### 会報

第44号 5月発行

寄稿 ・大震災での徒歩帰宅に思う 岸喜志雄(高6回)

・会津の前田慶次郎 佐瀬弘(高14回)

・紹興名誉市民・鈴木賢君からの便り 伊藤俊郎(高12回)

第45号 11月発行

特集 3・11東日本大震災



第44号 樹霜



第45号 鶴ヶ城

### 母校の出来事

- 1月25日 耐震改修工事（南校舎2期）完成。
- 3月27日 第1回アメリカ研修（栗林友吉基金の活用）。
- 4月1日 第1学年定員, 280名となる。
- 社会弁論 第58回国際理解協力のための高校生の主張全国大会 6位。  
第50回福沢諭吉記念祭全国高等学校弁論大会 6位。
- 合唱 全日本合唱コンクール全国大会 金賞。

### 主な国内外の動き

- 3月11日 東日本大震災、福島第一原発事故。

## 平成24年(2012)

### 年度総会

- 開催日時 4月15日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒
- 参加人数 171名(来賓含む)
- 議案 \*人事 任期満了に伴う役員改選が行われ、会長を再任、副会長4人を新任したほか、幹事長以下の役員を下記のように選出した。
- 会 長 川島廣守 (中45回) (再)
- 副会長 加藤 仁 (高7回) (新) 石田桂久 (高10回) (新)
- 〃 佐々木毅 (高13回) (新) 新井田傳 (高15回) (新)
- 幹事長 本名正二 (高16回) (再)
- 副幹事長 小野 彰 (高19回) (新) 越尾 修 (高23回) (再)
- 〃 天野康弘 (高29回) (新)
- 事務局長 阿部嘉之 (高5回) (再)
- 会計主幹 佐野 剛 (高11回) (再)
- 会計主任 長沼種臣 (高12回) (再) 福田喜正 (高21回) (再)
- 監 査 大竹隆輔 (高6回) (再) 早坂嘉朗 (高14回) (再)

今年度から、総会後の懇親会の運営は「会員スピーチ」を含めて、卒業年次が西暦年号下二桁に当たる学年（2012年の今年は高12回）を中心として担当する輪番制とした。

会員スピーチ 「甲子園と繋ぐ運命の糸」 黒岩正明氏（高12回）

昭和34年春の第31回全国高校選抜野球大会にエースピッチャーで出場を果たした、元先進医療機器販売会社社長の黒岩正明氏（高12回）に引受けて頂き「甲子園と繋ぐ運命の糸」と題し、野球少年だった柳津中時代や会高に入ってから心の葛藤、活躍の思い出、東北大会を勝ち進み甲子園出場までの経過について熱く語られ大好評でした。

## 主な出来事

- 8月 役員会において川島会長から辞任申し出を受け、石田桂久副会長（高10回）を会長代行に選出。
- 9月9日 地元総会に加藤仁副会長ほか4名が参加。
- 12月9日 川島廣守会長ご逝去。会報第48号に特集記事を掲載。

## 会報

第46号 6月発行

- 寄稿 ・大震災での徒歩帰宅から一年に思う 岸喜志雄（高6回）  
・力づけられることに感謝 菊地洋（中47回）  
・会津西街道、歩ける日を夢見て 高島良太郎（高2回）

第47号 11月発行

石田桂久会長代行（高10回）就任挨拶



第46号 七日堂



第47号 八重の城

## 母校の出来事

- 3月8日 耐震改修工事（北校舎I期）完成。
- 12月25日 プール災害復旧工事完成。
- 社会弁論 福澤諭吉記念第51回全国高等学校弁論大会 3位 杉原輝俊。
- 合唱 第65回全日本合唱コンクール全国大会 金賞。

## 主な国内外の動き

- 2月 東京スカイツリー開業。
- 12月 安倍内閣（第2次）。
- 12月 ノーベル医学生理学賞：山中伸弥。

## 平成25年(2013)

### 年度総会

開催日時 4月21日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 158名(来賓含む)

議案 \*人事 前年末に急逝された川島廣守会長の後任として新会長に副会長の石田桂久氏(高10回)を、後任副会長に大越康弘氏(高13回)を選出。

会員スピーチ 「領土問題と安全保障」 大越康弘氏(高13回)

元防衛庁官房長で新副会長の大越氏が、尖閣諸島や竹島問題などのタイミングに合わせて、領土の問題はその時の国力がモノをいうとわかりやすい話があった。

### 主な出来事

1月19日 川島会長お別れの会。

主催 会津会、在京会津高校同総会、日本野球機構、本田財団。

場所 ホテルオークラ東京「平安の間」。

参列者 約1000名。

7月 本名幹事長が辞任。副幹事長の小野彰氏(高19回)を幹事長代行に選出。

9月8日 地元総会に石田桂久会長他4名が参加。

### 会報

第48号 6月発行

故川島会長特集記事

寄稿 ・山中湖マラソン完走記 黒岩正明(高12回)

第49号 11月発行

寄稿 ・東日本大震災から2年が過ぎて 濱津幸則(高25回)



第48号 聖花 龍興寺



第49号 中秋の名月

### 母校の出来事

5月23日 耐震改修工事(北校舎III期・格技場)完成。

合唱 第66回全日本合唱コンクール全国大会金賞(第2位)、広島県知事賞。

社会弁論 福澤諭吉記念第52回全国高等学校弁論大会入賞 武田夏歩。

## 平成26年(2014)

### 年度総会

開催日時 4月20日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 202名(来賓含む)

議案 \*人事 昨年辞任した本名幹事長の後任に小野彰幹事長代行(高19回)を幹事長に選出。

\*会則改正 同窓会会則改正:幹事等の規定を追加。

会員スピーチ 「近代日本海運を支えた山国一会津の船乗りたち」 平山誠一氏(高14回)  
一般社団法人「海洋会」顧問の平山氏が三菱商船学校の一期生に旧会津藩士が在籍していた事、高級船員が多かったのは戊辰後に海運立藩するといった戦略的な狙いがあったからではないか大いに興味を持たれたとの事、現代においても強い海洋国家を郷里の若者に目指して欲しいと話されたのが印象的でした。

### 主な出来事

4月 事務所を新宿区市ケ谷、大越副会長の会社共生(株)内に移転。  
この後、執行役員会の終了後同事務所で佐々木美恵子事務局員の手料理で懇親会をすることが慣例化。

8月 役員会で同窓会運営内規を定め、毎月執行役員会を開催するなど、同窓会運営について細部を明文化した。

9月7日 地元窓会に石田会長、佐々木副会長、鈴木副幹事長の3名出席。

### 会報

第50号 6月発行

第51号 11月発行



第50号 会津絵ろうそくまつり



第51号 大内宿の夜更け

### 母校の出来事

4月23日 「子どもの読書活動優秀実践校 文部科学大臣賞」受賞。  
社会弁論 全国高等学校決勝弁論大会 団体の部準優勝 加藤さわ・武田夏歩。  
文部科学大臣杯全国青年弁論大会 優秀賞 武田夏歩。  
福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会 優秀賞 加藤さわ。  
合唱 第67回全日本合唱コンクール全国大会 金賞・文部科学大臣賞(第1位)。

美術 平成29年度全国高等学校総合体育大会総合ポスター図案最優秀賞。

## 主な国内外の動き

- 4月 消費税8%に。
- 8月 広島豪雨。
- 9月 御嶽山噴火。
- 12月 ノーベル物理学賞：赤崎勇、天野浩、中村修二。

## 平成27年(2015)

### 年度総会

開催日時 4月19日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 185名(来賓含む)

議案 \*会則改正 役員任期を3年から2年に変更。

\*人事 役員改選では石田会長以下4人の副会長を再選し、新幹事長に山寺氏、以下の新役員を選出した。

会長 石田桂久(高10回) (再)

副会長 加藤 仁(高7回) (再) 大越康弘(高13回) (再)

〃 佐々木毅(高13回) (再) 新井田傳(高15回) (再)

幹事長 山寺清蔵(高17回) (新)

副幹事長 菅家敏之(高22回) (再) 佐藤 学(高25回) (新)

〃 天野康弘(高29回) (再)

事務局長 大越康弘(高13回) (兼)

会計 早坂嘉明(高14回) (新) 福田喜正(高21回) (再)

〃 丸山健治(高23回) (新)

監査 遠藤暢喜(高8回) (新) 長沼種臣(高12回) (新)

会員スピーチ 「混乱から混沌、そして創造へ、福島これから」 田中俊一氏(高15回)

除染と除染廃棄物の扱い、風評被害の克服には国あるいは県がリーダーシップをもってきちっと政策を出していかないとこの問題は解決は難しいこと、県は市町村と国との繋ぎ役としてリーダーシップを示すべきである事、自身は福島のために働く気持ちが7~8割はあることなどについて、原子力規制委員会の初代委員長長田中氏が講演された。

### 主な出来事

1月 同窓会事業として「世代交流会」を始めた。

5月 平成4年4月から平成27年4月までの長きにわたり、事務局長として、在京会津高校同窓会運営に多大のご尽力をいただいた阿部嘉之氏(高5回)に感謝状を贈呈した。

9月6日 地元総会に石田会長、佐々木副会長、大越副会長、山寺幹事長の4名出席。

## 会報

第52号 6月発行

寄稿 ・小原庄助さんってどんな人 高橋幸雄（高8回）

第53号 11月発行



第52号 プロジェクションマッピング



第53号 冬の使者

## 母校の出来事

4月1日 復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業に指定される（平成29年度まで）。

社会弁論 第69回全国高等学校弁論大会 優勝 加藤さわ。  
第63回全国高等学校決勝弁論大会 団体の部 準優勝 加藤さわ、武田夏歩。

合唱 第68回全日本合唱コンクール全国大会金賞、文部科学大臣賞（1位相当）。

## 主な国内外の動き

12月 ノーベル物理学賞：梶田隆章。

12月 ノーベル医学生理学賞：大村智。

## 平成28年(2016)

### 年度総会

開催日時 4月17日（日） 11：00～14：30 於 上野精養軒

参加人数 171名（来賓含む）

会員スピーチ 「プロント300店、成長の舞台裏」 本名正二氏（高16回）

元プロント初代社長の本名氏が、サントリーが関与したほぼ全てのレストラン業態の開発業務に携わり、昼はカフェ、夜はバーというイタリアンスタイルの Pasta、ピザといった店の構想でオープンし業績向上を遂げたこと、プロントはサービス産業であるが教育産業であると宣言し、フランチャイズ・従業員教育に力を入れことなどを軽妙に話され、その気さくな語り口は大好評でした。

### 主な出来事

9月11日 地元総会に石田会長、佐々木副会長、大越副会長、山寺幹事長の4名出席。

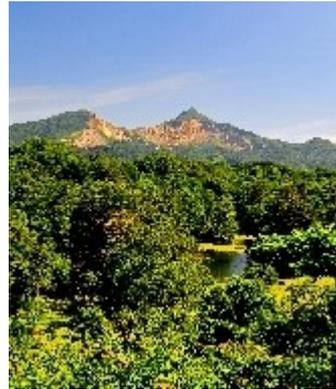
## 会報

第54号 6月発行

第55号 11月発行



第54号 彼岸獅子



第55号 新緑賦

## 母校の出来事

社会弁論 第64回全国決勝弁論大会 団体5位。

第12回高校生スピーチコンテスト審査員特別賞 齋藤奏。

合唱 第69回全日本合唱コンクール全国大会 金賞並びに香川県知事賞。

## 主な国内外の動き

4月 熊本地震。

12月 ノーベル医学生理学賞：大隈良典。

## 平成29年(2017)

### 年度総会

開催日時 4月16日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 163名(来賓含む)

議案 \*会則改正 事務局長の役職を削除。

\*人事 当期が役員改選の年に当たり、以下の新役員が選出された。

会長 大越康弘(高13回)(新)

副会長 佐々木毅(高13回)(再) 新井田傳(高15回)(再)

〃 大平隆司(高15回)(新) 芳賀克己(高16回)(新)

幹事長 山寺清蔵(高17回)(再)

副幹事長 菅家敏之(高22回)(再) 佐藤 学(高25回)(再)

〃 佐藤光利(高27回)(新)

会計 早坂嘉朗(高14回)(再) 丸山健治(高23回)(再)

〃 金田大作(高26回)(新)

監査 長沼種臣(高12回)(再) 荒井伸吉(高17回)(新)

会員スピーチ 「不動産業から茶道家への転身 日本文化に目覚めて」 河野和彦氏(高17回)

裏千家選任講師 茶道師範の河野氏が、茶道師範に転身したいきさつ、茶道の目的は「もてなし」であること、茶事のいろいろや時の権力者たちに珍重された茶道具の例などについて分かり易く話された。

## 主な出来事

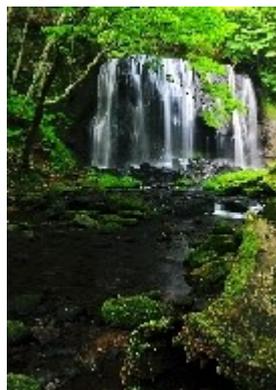
- 10月 同窓会運営内規を改正し、総務委員会所掌で「会津学生・若手社会人セミナー」を始めた。
- 12月 國分栄次氏(高3回)から寄付金200万円を受け、國分基金を創設(20頁参照)。

## 会報

- 第56号 6月発行  
第57号 11月発行



第56号 名城の夜



第57号 不動滝

## 母校の出来事

- 陸上競技 第5回全国高等学校陸上競技選抜大会 男子300mハードル 1位 山内大夢  
(大会新記録、U20日本新記録)。
- 端艇 全国高等学校総合体育大会 ボート競技 男子クオドルプル準決勝進出。
- 社会弁論 福沢諭吉記念第56回全国高等学校弁論大会 優秀賞 秀島由里子。  
第20回全国高等学校俳句選手権大会 個人優秀賞 白井駿助。
- 合唱 第70回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門 Bグループ 金賞。

## 主な国内外の動き

- 1月 トランプ大統領就任。

## 平成30年(2018)

### 年度総会

開催日時 4月15日(日) 11:00~14:30 於 上野精養軒

参加人数 157名(来賓含む)

会員スピーチ 「会津から世界へグローバル化教育に携わって」 小澤弘明氏(高28回)  
千葉大学副学長でヨーロッパ近現代史が専門の小澤氏が、子供の頃から広く世界の歴史にも関心を抱くようになり、高校の世界史教科書も執筆するようになる。また、そのため研究だけでなく国際教養学部長として、文系・理系という考えをとらずに世界で生じている様々な課題から出発し、「現場で学ぶ、現場を学ぶ」「世界で学ぶ、世界を学ぶ」をモットーとした教育に取り組んでいきたいと語られた。

## 主な出来事

同窓会の活性化を図るため、在京会津高校同窓会懇親会等の活動に対しお酒の提供などの応援施策をはじめます。

## 会報

第58号 6月発行

第59号 11月発行

書評 ・ 評伝小室直樹 推薦文2編 小林正典（高11回）、小島原将直（高26回）



第58号 鶴が城



第59号 左下り観音

## 母校の出来事

- 4月1日 第1学年定員、240名となる。
- 10月17日 給水設備改修工事（受水槽更新、高架水槽撤去）。
- 端艇部 全国高等学校総合体育大会ボート競技 男子シングルスカル 優勝 門馬健将。
- 合唱部 全日本合唱コンクール全国大会 金賞、長野県知事賞。
- 社会弁論部 第72回全国高等学校弁論大会 第4位 上島花菜。
- 物理部 第42回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門（物理） 奨励賞。

## 主な国内外の動き

- 6月 米朝首脳会談。
- 7月 西日本豪雨。
- 12月 ノーベル医学生理学賞：本庶佑。

## 平成31年・令和元年(2019)

### 年度総会

開催日時 4月21日（日） 11：00～14：30 於 上野精養軒

参加人数 145名（来賓含む）

議 案 \*人事 当期が役員改選に当たり、下記の方々が選出された。

会 長 大越康弘（高13回）（再）

副 会 長 佐々木毅（高13回）（再） 大平隆司（高15回）（再）

” 芳賀克己（高16回）（再） 荒井伸吉（高17回）（新）

幹 事 長 山寺清蔵（高17回）（再）

副幹事長 佐藤 学（高25回）（再） 佐藤光利（高27回）（再）

〃 佐藤清美（高28回）（再） 二戸弘幸（高33回）（再）

〃 芦澤理恵子（高64回）（新）

会 計 早坂嘉朗（高14回）（再） 丸山健治（高23回）（再）

〃 金田大作（高26回）（再）

監 査 鈴木忠正（高15回）（新） 廣田 潔（高19回）（新）

会員スピーチ 「西洋絵画私見一創り手の視点から」 相田幸男氏（高19回）

北海道教育大学名誉教授の相田氏が、文化庁芸術家在外派遣での渡仏経験から、日本人であるという意識の醒覚に目覚めた経緯や、海外に身を置いたときに感じるアイデンティティ、感性、外物を眺める視点を大切に、西洋絵画と関りをもって歩んできた1人の日本人としての作品の一部を画像により解説・講演された。

## 主な出来事

9月8日 地元総会に大越会長、佐々木副会長、山寺幹事長の3名出席。

## 会報

第60号 6月発行

第61号 11月発行



第60号 復旧に応援只見線



第61号 秀峰磐梯山と白鳥

## 母校の出来事

端艇部 第74回国民体育大会ボート競技少年女子舵手付きクォドルブル 5位 中窪姫美華。

合唱部 第72回全日本合唱コンクール全国大会 Bグループ 金賞。  
第86回NHK全国学校音楽コンクール 銅賞（第3位）。

社会弁論部 第73回全国高等学校弁論大会 名古屋市長賞（第3位相当）真田理実。

## 主な国内外の動き

4月 明仁天皇退位、皇太子徳仁親王が天皇即位。年号が平成から令和へ。

10月 消費税10%に。

12月 ノーベル化学賞：吉野彰。

## 令和2年(2020)

### 年度総会

4月18日に予定したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。

このため総会に代わる役員会の書面議決により事業計画・予算は可決された。

### 主な出来事

2月 山寺幹事長病気のため辞任申し出があり、幹事長代行に小野彰氏を選出。

### 会報

第62号 6月発行

第63号 11月発行



第62号 金山町大志



第63号 アーチ三兄弟

### 母校の出来事

11月24日 フェンス新設工事（敷地裏側等）。

### 主な国内外の動き

1月 新型コロナウイルス（COVID19）国内で感染症第一例発生。

3月 東京オリンピック・パラリンピック延期。

4月 新型コロナで東京都など7都府県で緊急事態宣言発令。

9月 安倍首相辞任。

9月 菅義偉 首相就任。

## 令和3年(2021)

### 年度総会

4月17日に予定したが、新型コロナウイルス感染防止のため9月19日に延期。

しかしながら新型コロナウイルス収束の兆しがみられず中止とした。

特記事項 春の年度総会は新型コロナ感染事態により9月に延期したので、役員改選・予算の議案は書面審査により議決した。

改選された役員名は38頁の「現役員」に掲載。

### 主な出来事

4月 事務所で開催する執行役員会に出席できない役員のために、今後オンラインで審議

に参加できることにした。

## 主な国内外の動き

1月 東京都等新型コロナで2度目の緊急事態宣言発令。

1月 トランプ氏支持者が米議会乱入。

1月 バイデン米大統領（第46代）就任。

7月 熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生。

7月 東京都等新型コロナで4度目の緊急事態宣言発令。

7月 東京オリンピック開催。

オリンピック陸上男子400m障害 準決勝進出 山内大夢（高69回）。

## 年会費の推移

### （1）年会費制の導入

昭和26年に発足した在京会津高校同窓会は、年1回の春に開催される年次総会を中心として活動を展開してきた。この年次総会の開催運営費については、開催の都度清算する「会費制」により賄ってきた。

平成の時代に入り、会員相互の交流を深め、在京同窓会の活性化を図るため、会報の発行、講演会の開催等の諸活動を企画していくこととなった。これらの諸活動を恒常的に支えて行くために、これまでの「会費制」に代えて、「年会費制」を導入することが平成2年（1990年）4月の年次総会に提案・了承され、平成2年度から実施した。

この時の「年会費」の内容は、①年会費は2,000円とする、②1回で30,000円納入した場合は「終身会員」とし、以後通常の年会費の納入は不要とする、ものであった。

この結果、平成2年度の決算においては、年会費の納入額は、4,491千円（うち終身会費納入者は100名で、年会費額は3,000千円）となり、会報の発行等の諸活動に充当することができ、さらに、次年度への繰越金は3,127千円で、在京同窓会の安定的な財政運営のための基盤が整えられた。

この平成2年度の年会費納入額（4,491千円）は、現在までの最大の年会費納入額となっている。

その後、年会費納入額は、徐々に減少したが、平成11年度決算までは3,000千円台の納入額が計上でき、平成9年度決算時には、次期繰越金が過去最大の6,426千円となった。しかし、平成12年度決算時以降は、年会費の納入額が2,700千円台に減少し、これに伴い平成15年度の次期繰越金は486千円まで減少した。

### （2）年会費の改正

年会費納入額が年々減少傾向をたどる一方、諸物価は徐々に値上がり傾向を示す状況に対応するため、平成19年（2007年）4月の総会において、「年会費の改定」が承認され、平成20年度から実施された。

平成20年度決算時の年会費の納入額は、2,066千円となった。その後は、『「3千円」納入会員』の数が減少傾向をたどり、1,500から1,600千円台で推移し、平成26年度、平成27年度には、「3千円」納入会員数が500人を越えたことにより、年会費収入も2,000

千円台に増加したが、定着せず、平成30年度の年会費納入額は、「3千円」納入会員の数が284人と減少したため、1,182千円まで減少した。

また、近年、年次総会への参加者が減少しており、総会開催のため費用（案内状の印刷費、郵送料）を総会参加費（7,000円）で賄えず、年会費を充当せざるを得なくなっている。

このように、年会費の納入額が減少傾向をたどっている理由としては、会員の高齢化が進む一方、新規会員の増加が見込めないこと、また、定年が延長され、現役として活動する時間が増え、同窓会活動に対する関心が薄くなっていること、などが考えられる。

また、年会費の納入を促すため、年2回の会報の送付時には、「年会費納入のお願い」のチラシを同封している。

### （3）國分基金の創設

平成29年(2017)の12月に、國分栄次氏（高3回）から、在京同窓会の活動に役立ててほしいとのことで、200万円の寄付があった。

この200万円の用途については、ご寄付の趣旨を生かすため、新たに「國分基金」を創設し、若手会員拡大のための諸活動に充てることとした。

この「國分基金」は、①学生セミナーの開催費、②年次総会に出席した在京大学生の会費の補填、③在京会員の同期会への支援活動等の資金として活用している。

### 【資料】平成19年度からの在京会津高校同窓会の収支状況

(千円)

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31 ・R1	R2
<b>【収入の部】</b>														
会費	1,758	2,066	1,691	1,581	1,894	1,677	1,744	2,212	2,282	1,313	1,910	1,182	1,400	982
総会会費	1,197	1,078	938	850	798	980	889	1,064	931	836	815	793	726	0
寄付祝儀	472	364	475	840	326	420	355	371	447	311	2,382	173	742	216
広告料	320	225	145	205	70	210	200	160		195	190	165	165	180
基金からの繰入													162	0
その他収入	924	738	530	558	839	462	273	392	261	16	22	12	227	0
収入(A)	4,671	4,471	3,779	4,034	3,627	3,749	3,461	4,199	3,921	2,671	5,319	2,325	3,258	1,378
<b>【支出の部】</b>														
総会費	1,091	1,075	850	832	809	905	857	1,207	1,096	1,289	1,198	1,450	1,345	48
会報費	1,314	1,045	1,235	686	863	749	767	723	757	884	849	831	827	757
（印刷費）	862	670	852	388	533	392	393	420	423	551	551	551	556	497
（送付費）	452	374	383	298	310	357	374	303	344	333	298	280	271	260
事務局費	360	816	882	983	60	60	4	360	507	503	490	400	512	489
基金繰入											2,000			
その他費用	2,156	374	1,075	1,305	1,597	1,131	957	1,356	1,035	753	684	429	552	200
支出(B)	4,561	4,406	4,042	3,806	3,329	2,845	2,585	3,646	3,395	3,429	5,221	3,210	3,236	1,494
収支(A-B)	207	65	-263	228	298	904	876	552	526	-757	98	-885	22	-116
<b>【年会費納入状況】</b>														
年会費	654	472	427	427	504	429	418		504	371	420	284	380	230
終身会費	15	9	5	4	8	5	9		13	2	11	5	4	5
追加終身会費		10	8	5	9	7	2		6	5	5	4	3	2

(注1) 「その他収入」は、役員会費、催事剰余金、義捐金預り金(H26)および雑収入

(注2) 「総会費」には、総会資料の印刷費、総会案内状の印刷・送付費を含む。

「事務局費」は、家賃および事務委託費

「その他費用」は、会報以外の印刷費・通信費、事務消耗品費、会合参加費、会議費、広告費、文化講演会費、振込手数料および雑費

## 在京会津高校同窓会催事活動の推移

### 【文化講演会】

文化講演会は平成2年直木賞作家の早乙女貢氏の「会津士魂」から開始された。

#### 第18回（2007年）

- ① 開催月 平成19年6月（会報第38号4頁目）
- ② 演題 健康長寿と生涯現役でいこう
- ③ 講師 星且二氏（高23回 首都東京大学院）

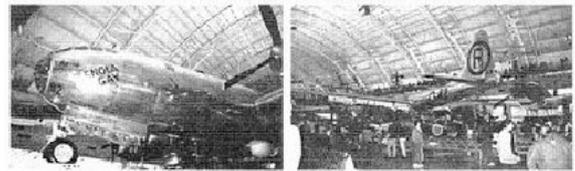
#### 第19回（2008年）

- ① 開催月 平成20年6月（会報第40号4頁目）
- ② 演題 らーめんで薩長を攻める
- ③ 講師 新井田傳氏（高15回 幸楽苑社長）

#### 第20回（2009年）

- ① 開催月 平成21年6月（会報第41号3頁目）
- ② 演題 スミソニアンの魅力はどこに
- ③ 講師 松本栄寿氏（高5回 横河電機）
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜（高8回）

エノラゲイ（日本に原爆を運んだB29爆撃機、新航空宇宙博物館）



#### 第21回（2010年）

- ① 開催月 平成22年6月（会報第43号2頁目）
- ② 演題 愛しい母校
- ③ 講師 安部哲夫氏（高13回 会津磐梯カントリークラブ社長 元母校音楽部顧問）
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜（高8回）

#### 第22回（2011年）

- ① 開催月 平成23年6月（会報第45号4頁目）
- ② 演題 海上自衛隊勤務を通じて感じたこと
- ③ 講師 鈴木秀典氏（高17回 元海上自衛隊一佐）
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜（高8回）

#### 第23回（2012年）

- ① 開催月 平成24年6月（会報第47号3頁目）
- ② 演題 福島原発事故のその後～よみがえれ福島～
- ③ 講師 田中俊一氏（高15回 NPO「放射線安全フォーラム」副理事長）
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜（高8回）

#### 第24回（2013年）

- ① 開催月 平成25年7月（会報第49号2頁目）
- ② 演題 確実にやってくる地震に対して～学ぶべき本当の教訓と今すべきこと～
- ③ 講師 目黒公郎氏（高33回 東京大学教授 東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター長）
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜（高8回）

### 第25回 (2014年)

- ① 開催月 平成26年7月 (会報第51号 3 頁目)
- ② 演題 “戦場記者” が見てきた世界
- ③ 講師 柳澤秀夫氏 (高24回 NHK解説主幹)
- ④ 実行委員長 遠藤暢喜 (高8回)

### 第26回 (2015年)

- ① 開催月 平成27年7月 (会報第53号 2 頁目)
- ② 演題 健康長寿をめざして 『ピンピンコロリの法則』
- ③ 講師 星且二氏 (高23回 首都大学東京名誉教授)
- ④ 講演会担当幹事 菅家敏之 (高22回)

### 第27回 (2016年)

- ① 開催月 平成28年7月 (会報第55号 3 頁目)
- ② 演題 音楽を通しての人間教育  
講師 佐藤正治氏 (高21回 プロジェクト・アドバイザー エル・システム室 室長)
- ③ 講演会担当幹事 菅家敏之 (高22回)

### 第28回 (2017年)

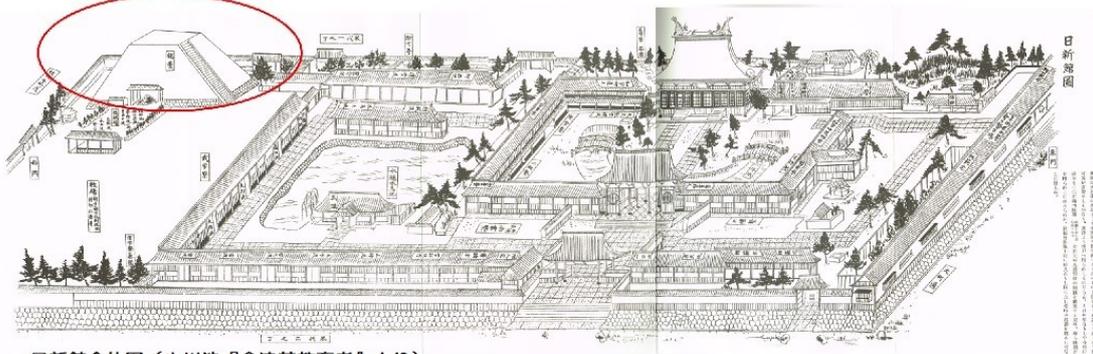
- ① 開催月 平成29年7月 (会報第57号 3 頁目)
- ② 演題 恋する会津
- ③ 講師 石原信一氏 (高19回 一般社団法人日本作詞家協会常務理事)
- ④ 講演会担当幹事 石田護朗 (高24回)

### 第29回 (2018年)

- ① 開催月 平成30年7月 (会報第59号 4 頁目)
- ② 演題 日本の外交・安全保障戦略を考える
- ③ 講師 渡部恒雄氏 (高34回 笹川平和財団 上席研究員)
- ④ 講演会担当幹事 石田護朗 (高24回)

### 第30回 (2019年)

- ① 開催月 令和元年7月 (会報第61号 3 頁目)
- ② 演題 会津と宇宙の深い関係
- ③ 講師 渡部潤一氏 (高31回 理学博士 国立天文台副台長、教授)
- ④ 講演会担当幹事 窪田茂 (高26回)、冨田稔 (高27回)、二戸弘幸 (高33回)



日新館全体図 (小川渉『會津藩教育考』より)  
東西125間 (約228m)、南北64間 (約116m)、面積8,000坪 (約26,400㎡) の大規模教育施設であった。  
赤丸が全損する天文台 (観台) である

## 第31回（2020年）

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言発令等により中止。

（注）講演内容を紹介している在京同窓会ホームページの会報の号数とページを、開催月の後に載せました。

## 【会津歴史探訪の旅】

会津歴史探訪の旅は、羽賀重弥氏（高2回卒）の提案により、平成14年、直木賞作家・中村彰彦氏とのご縁もあって、高遠町訪問を皮切りに始まり、令和2年、コロナ過により中止されるまで、主に、会津藩祖・保科正之公や戊辰戦争の史跡を訪ねて、北は北海道から南は九州まで15回の旅が催行された。

中村彰彦氏には、15回中12回同行頂き、車中での細部に亘る解説により、バスガイド要らずの旅となり、宿では、深夜までの歴史談義に花が咲きました。

### 第4回 鳴門ドイツ館から京都黒谷を訪ねて

- ① 催行月日 平成19年3月15～16日
- ② 参加者 18名
- ③ 訪問先 鳴門ドイツ館・板東俘虜収容所跡、伏見街道、京都黒谷・金戒光明寺等
- ④ 紀行文 会報第36号：芳賀重弥（高2回）

### 第5回 道南・会津縁の旅

- ① 催行月日 平成20年6月3～5日
- ② 参加者 11名
- ③ 訪問先 函館：五稜郭、高龍寺・傷心惨目の碑、森町：会津藩遊撃隊上陸の地、せたな町：会津白虎隊遥拝所、余市：会津藩士墓地と緋の衣原木、札幌：琴似屯田兵村兵屋等
- ④ 幹事 菊池良輝（高8回）、佐々木毅（高13回）  
紀行文 会報第39号：芳賀重弥（高2回）

### 第6回 山口、萩を訪ねて

- ① 催行月日 平成21年12月7～9日
- ② 参加者 6名
- ③ 訪問先 関門海峡、奥平謙輔の墓、唐樋地藏堂・白虎隊自刃の絵、松陰神社・松下村塾等
- ④ 幹事 佐々木毅（高13回）  
紀行文 会報第42号：芳賀重弥（高2回）

### 第7回 幕末会津藩士の古跡を房総・三浦半島を訪ねて

- ① 催行月日 平成22年9月25～26日
- ② 参加者 26名
- ③ 訪問先 富津：浄信寺（照姫の墓）・松翁院（会津藩士と家族の墓）他5寺、飯野藩陣屋跡、竹ヶ岡台場跡、横須賀：西徳寺・腰越〈三味堂〉・大椿寺城山の会津藩士墓地、観音崎台場跡、浦賀郷土資料館等
- ④ 特記事項 この回は、菊池良輝氏（高8回卒）を中心として、旅行会社を通さずに手作

- りの旅を催行した。
- ⑤ 幹事 菊池良輝（高8回）、鹿目雄志（高9回）、石田桂久（高10回）、佐野剛（高11回）、佐々木毅（高13回）、越尾修（高23回）  
紀行文 会報第43号：菊池良輝（高8回）

### 第8回 若松城と阿賀町・会津藩古跡を訪ねて

- ① 催行月日 平成23年10月1～2日  
② 参加者 19名  
③ 訪問先 日新館、若松城、能楽堂、阿賀町：津川河港、正法寺（西郷四郎の墓）、新善光寺（白虎隊士藤森八太郎の墓）、枝村甚兵衛積信称徳碑、保科正興の墓等  
④ 幹事 石田桂久（高10回）、佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、本名正二（高16回）、越尾修（高23回）、米森公彦（高31回）  
紀行文 会報第45号：菊池良輝（高8回）

### 第9回 保科氏の古跡を訪ねて

- ① 催行月日 平成24年4月17～18日  
② 参加者 21名  
③ 訪問先 諏訪大社、高遠城址公園（夜桜）、高遠町歴史博物館、満光寺（左源太の墓）、長野：保科清水寺、広徳寺（保科氏居館跡）等  
④ 特記事項 一日目夜に伊那市の「名君保科正之公の大河ドラマをつくる会」メンバーと懇親会  
⑤ 幹事 佐々木毅（高13回）、本名正二（高16回）、米森公彦（高31回）  
紀行文 会報第46号：菊池良輝（高8回）

### 第10回 白河・戊辰戦跡と会津松平家の御霊を訪ねて

- ① 催行月日 平成25年6月8～9日  
② 参加者 17名  
③ 訪問先 白河：大龍寺（戊辰役戦死墓）、田辺軍次の墓、会津鎮魂碑と戦死墓、常宣寺（会津藩士処刑地跡）、会津松平家御廟、白虎隊記念館、大河ドラマ館、土津神社等  
④ 幹事 菊池良輝（高8回）、佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、本名正二（高16回）  
紀行文 会報第49号：菊池良輝（高8回）



土津神社 保科正之公御廟にて

### 第11回 会津藩士収容所・高田と上越の戊辰戦跡を訪ねて

- ① 催行月日 平成26年6月7～8日  
② 参加者 18名  
③ 訪問先 上越市：会津藩士墓地、会津藩士収容所（高田別院・善導寺・浄興寺）、高田城、春日山城、長岡市：榎峠古戦場、朝日山殉難墓碑、慈眼寺、魚沼市：懐旧碑、輪形月歌碑、戦死者姓名碑等  
④ 幹事 菊池良輝（高8回）、佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）



長岡 榎峠古戦場にて

紀行文 会報第51号：菊池良輝（高8回）

## 第12回 凌霜隊縁の郡上と容保公出自の地・海津を訪ねて

- ① 催行月日 平成28年6月4～5日
- ② 参加者 27名
- ③ 訪問先 長敬寺（凌霜隊士謹慎所）、郡上八幡博覧館、郡上八幡城・凌霜隊顕彰碑、慈恩禅寺（赤谷揚屋跡）、岐阜城、海津市歴史博物館、墨俣一夜城等
- ④ 幹事 佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、鈴木忠正（高15回）、渡部秀一（高17回）

紀行文 会報第54号：遠藤暢喜（高8回）



郡上八幡城にて

## 第13回 保科正之公生母・お静を庇護した松姫の足跡を訪ねて

- ① 催行月日 平成29年6月3～4日
- ② 参加者 35名
- ③ 訪問先 勝沼・恵林寺、甲斐善光寺、武田神社、新府城跡、高遠城址公園、建福寺、高遠町歴史博物館、柏尾古戦場跡・近藤勇像、八王子・信松院（松姫の墓）等
- ④ 特記事項 一日目夜に「伊那市友好協会」と交流会
- ⑤ 幹事 佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、鈴木忠正（高15回）、渡部秀一（高17回）、渡部潔（高26回）

紀行文 会報第56号：遠藤暢喜（高8回）



八王子・信松院前にて

## 第14回 保科正之公の表舞台第一歩・山形と会津戊辰戦争の戦跡を辿る

- ① 催行月日 平成30年6月2～3日
- ② 参加者 36名
- ③ 訪問先 山形城、白岩誓願寺・白岩義民供養塔、長岡山公園古戦場、米沢・林泉寺（上杉氏菩提寺・正之公長女媛姫の墓）、旧滝沢本陣、戸ノ口原古戦場跡・白虎隊奮戦地、十六橋、母成峠、二本松城、大隣寺・二本松少年隊墓所等
- ④ 幹事 佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、鈴木忠正（高15回）、渡部秀一（高17回）、渡部潔（高26回）

紀行文 会報第58号：遠藤暢喜（高8回）



旧滝沢本陣にて

## 第15回 戊辰後の会津藩士が北海道に残した足跡を訪ねて

- ① 催行月日 令和元年6月8～10日
- ② 参加者 37名

- ③ 訪問先 余市：ニッカウキスキー余市蒸留所、旧藩士の開村記念碑、萱野権兵衛殉節碑、吉田観光農園・緋の衣原木、会津藩士之墓碑、せたな町：会津白虎隊遥拝所、森町：会津藩遊撃隊上陸の地、函館：碧血碑、高龍寺・傷心惨目の碑、新島襄海外渡航の地碑、五稜郭等
  - ④ 特記事項 一日目昼、余市町の町長・福島県人会会長らと昼食を兼ねた交流会、同日夜は、会中・会高北海道同窓会メンバーと夕食を兼ねた懇親会
  - ⑤ 幹事 佐々木毅（高13回）、大平隆司（高15回）、鈴木忠正（高15回）、渡部秀一（高17回）、渡部潔（高26回）
- 紀行文 会報第60号：鈴木忠正（高15回）



余市町との交流会記念写真余市川土手にて



会津白虎隊玉川遥拝所前にて

(注) 第1回から第3回までは、創立55周年記念誌に記事が掲載されている

## 【川島杯ゴルフ大会】

### ゴルフ会（川島杯）（2007年～2021年）

開催回	開催日	会場	参加人数	特記事項等
第32回	平成19年5月16日	新千葉カントリークラブ	25名	優勝：本名正二（高16回）
第33回	平成19年11月7日	日本カントリークラブ	30名	優勝：猪俣光一郎（高13回）
第34回	平成20年5月15日	新千葉カントリークラブ	20名	優勝：伊東巖（高13回）
第35回	平成20年11月12日	日本カントリークラブ	29名	優勝：天野康弘（高29回）
第36回	平成21年5月14日	新千葉カントリークラブ	20名	
第37回	平成21年11月11日	日本カントリークラブ	中止	降雨のため当日中止決定
第38回	平成23年5月19日	総武カントリークラブ	20名	
第39回	平成23年11月9日	日本カントリークラブ	16名	
第40回	平成24年5月17日	総武カントリークラブ	16名	優勝：阿部康二（高37回）
第41回	平成24年11月16日	日本カントリークラブ	12名	
第42回	平成25年5月22日	常陽カントリークラブ	12名	優勝：大竹聡（高18回）
第43回	平成25年10月2日	母成高原カントリークラブ	13名	優勝：竹田政弘（高24回-会津地元同窓会）

第44回	平成26年6月15日	美里カントリークラブ	13名	優勝：鈴木尚（高31回）
第45回	平成27年10月9日	アクアラインゴルフクラブ	10名	優勝：菅家敏之（高22回）
第46回	平成28年4月27日	東京湾カントリークラブ	中止	
第47回	平成28年10月12日	日本カントリークラブ	15名	優勝：山田泰次（高20回） 5～45回生参加
第48回	平成29年6月6日	東京湾カントリークラブ	8名	優勝：高倉英臣（高20回） 13～26回生参加
第49回	平成29年11月15日	日本カントリークラブ	18名	優勝：坂内孝成（高8回） 8～45回生参加
第50回	平成30年6月6日	東京湾カントリークラブ	12名	優勝：鈴木順一（高20回）
第51回	平成30年11月14日	日本カントリークラブ	18名	優勝：安藤治樹（高20回）
第52回	令和元年5月15日	東京湾カントリークラブ	7名	優勝：尾崎昌造（高25回）
第53回	令和元年11月13日	日本カントリークラブ	12名	優勝：尾崎昌造（高25回） 13～45回生参加
第54回	令和2年5月14日		中止	新型コロナ禍のため
第55回	令和2年11月11日		中止	新型コロナ禍のため
第56回	令和3年5月		中止	新型コロナ禍のため
第57回	令和3年11月18日	日本カントリークラブ	予定	



第47回川島杯（2016年日本カントリークラブ）



第49回川島杯（2017年日本カントリークラブ）

各回の幹事は以下のとおりです。

36回～39回 小林保信(高16回)、中村元蔵(高16回)、丸山勇一(高16回)

40回～44回 雪下正裕(高7回)、藤原正美(高16回)

45回～47回 安藤治樹(高20回)、佐藤学(高25回)

48回～55回 安藤治樹(高20回)、佐藤学(高25回)、二瓶満(高45回)

56回～57回 佐藤学(高25回)、二瓶満(高45回)

## 【いも煮会】

いも煮会は、提唱者 永田道夫実行委員長（高7回）のプランにより、平成4年の秋に開催された。太田靖敏氏（高1回）が、東京サマーランドの取締役としておられたお蔭で、“BBQの

聖地”秋川溪谷沿いのファミリーパークで川島会長を囲み、「会津の酒といも煮を楽しもう」と始まり、令和2年はコロナ禍で中止されるまでに28回が催行された。

### 第16回

- ① 催行月日 平成19年10月20日（土） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 30名（川島会長以下 会女OG15名含む）
- ③ 特記事項 美味しい3種類のいも煮を皆さん堪能。アトラクションは恒例の盆踊り、そして三浦女史によるシャンソン、最後に両校の校歌を斉唱などで3時間タップリと楽しんだ。

### 第17回

- ① 催行月日 平成20年10月19日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 50名（川島会長以下 会女OG16名含む）
- ③ 特記事項 今年から10月の第3日曜日に開催とした。アトラクションは恒例の盆踊り、今年も三浦女史によるシャンソンなどで3時間たっぷり楽しんだ。

### 第18回

- ① 催行月日 平成21年10月18日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 55名（川島会長以下 会女OG22名含む）
- ③ 特記事項 秋晴れの中、シニア組の他、20回台卒の若手や会女OGの多数参加があり。合唱タイムには長沼種臣氏（高12回）の指揮で会中・会高校歌や唱歌を合唱。会女OGも校歌を披露し、最後は盆踊りで気持ちのいい汗を流し大いに楽しんだ。

### 第19回

- ① 催行月日 平成22年10月17日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 40名（川島会長以下 会女OG15名含む）
- ③ 特記事項 雨の予報でしたが曇間から青空ものぞいて、いも煮会日和となりました。ご高齢を押して毎年参加されてた元会女同窓会長の遠藤妙子様が、10月3日に逝去され全員で黙とうを捧げました。相羽副会長（高4回）が都合で欠席でしたが中学生のお孫さんと友達が来てくれたのにはびっくりしましたが大歓迎。例年通り歌あり、盆踊りありと皆さんと大いに楽しんだ。

### 第20回

- ① 催行月日 平成23年10月16日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 50名（川島会長以下 会女OG15名含む）
- ③ 特記事項 朝は雨だったが、昼前には陽射しが強くなり熱中症を懸念し、屋根付ログガーデンに移す。いも煮ができあがる頃、校歌が流れ開宴となりました。当いも煮会も20回を数え、他のグループや他校からの問い合わせがあり、できる限りの要領・レシピなどを提供するようになっています。

### 第21回

- ① 催行月日 平成24年10月21日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 48名（川島会長以下 会女OG14名含む）
- ③ 特記事項 晴天に恵まれたが、ガスコンロの圧力不足でとろ火でじっくり煮込むことになったが味は最高。来年のNHK大河ドラマに因んだ「八重さん」という酒を、地元会長の新城猪之吉氏（高21回）から差し入れして頂き感謝・感謝！会津人の口に合った芳醇な風味を皆さんが堪能され、最高の1日でした。

### 第22回

- ① 催行月日 平成25年10月20日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）

- ② 参加者 36名（石田会長以下 会女OG18名含む）
- ③ 特記事項 前夜からの雨が止まず屋根付ログガーデンで実施。思いの外、寒さが厳しく例年を上回る量のいも煮汁と燗酒が進み、皆さんの胃袋はまだ元気でした。前回まで旧制中卒の参加が8名以上でしたが3名と激減。最若年は23回卒。

### 第23回

- ① 催行月日 平成26年10月19日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）
- ② 参加者 50名（石田会長以下 会女OG25名含む）
- ③ 特記事項 旧制中卒の参加がゼロで一抔の寂しさも。会高と会女の参加者が逆転したが、両校の12回卒が中心となって会を盛り上げ盆踊りに興じ、「あざみの歌」、「花は咲く」等を熱唱、両校の校歌で締め、楽しい時間を過ごした。

### 第24回

- ① 催行月日 平成27年10月18日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）、小野彰（高19回）
- ② 参加者 45名（石田会長以下 会女OG21名含む）
- ③ 特記事項 今年は、94歳の真船正久氏（中44回）も参加され和やかに始まり、食べて飲んで腹くちくちくになったところで、恒例の盆踊りに興じ、唱歌・応援歌・震災復興支援ソングなどを歌い、秋の陽ざしの中で楽しい一日を過ごした。

### 第25回

- ① 催行月日 平成28年10月16日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）、小野彰（高19回）
- ② 参加者 45名（石田会長以下 会女OG23名含む）
- ③ 特記事項 寺木良巳氏（中51回）の乾杯！飲み放題・食べ放題のいも煮会が賑やかに始まり。家族連れや奥様同伴の方も和気あいあいと暫く歓談。長沼種臣氏（高12回）と会女OGの近藤トミ子さんの歌唱指導の下、会高と会女の校歌、そして唱歌～昭和歌謡までアカペラの大合唱、恒例の盆踊りと童心に帰り楽しみました。

### 第26回

- ① 催行月日 平成29年10月15日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）、小野彰（高19回）
- ② 参加者 34名（石田会長以下 会女OG15名含む）
- ③ 特記事項 1日中雨でしたが、なんとキャンセル者はゼロでした。雨にも関わらず屋内（ログガーデン）で盆踊り、皆さんの輪が広がり楽しんだ。いも煮汁にうどんも好評でした。

### 第27回

- ① 催行月日 平成30年10月14日（日） 幹事：佐藤浩（高16回）、小野彰（高19回）
- ② 参加者 33名（大越会長以下 会女OG14名含む）
- ③ 特記事項 サマーランド側の事情で例年より1週間前に開催。前日の雨で少し肌寒だったので、日本酒の御燗が大人気でした。デザートにリンゴと柿も出され皆さん大満足でした。

### 第28回

- ① 催行月日 令和元年10月20日（日）  
幹事：佐藤浩（高16回）、小野彰（高19回）
- ② 参加者 32名（大越会長以下 会女OG12名含む）
- ③ 特記事項 数日前の台風で近くの被



参加者全員で平成元年版記念撮影

害の大きさに驚き、天候不安もあり例年より参加が少なかった。初参加の6名は、何十年ぶりかで会津の芋煮を味わい、盆踊りに興じ郷愁を感じひと時を過ごした。学年別で23回の4名が最多であった。

## 第29回

- ① 催行予定日 令和2年10月18日（日）でしたが、コロナ禍のため中止とした。

## 【歩こう会】

歩こう会は、平成11年に川島廣守氏（当時会長）からの「先輩と後輩の交流」を深める行事の創設発案で渡部敬三氏（中53回、当時副会長）が提唱し、菅家實氏（高4回）、伊藤俊郎氏（高12回）、田澤良雄氏（高12回）が幹事役となりスタートした。発足以来21年間での参加者は中45回から高38回まで、家族友人58名を含めてのべ349名になる。

### 第9回 野火止用水緑道 幹事：菅家實（高4回）、伊藤俊郎（高12回）

- 実施 平成19年（2007）9月23日（祝日） 参加：16名
- コース 西武池袋清瀬駅⇒平林寺⇒止用水緑道⇒志木駅
- 特徴 京都似の紅葉と江戸の水対策の止用水の癒し緑道。  
会津藩保科正之公が玉川上水等の治水事業を指揮。



### 第10回 日高市 巾着田ヒガンバナ 幹事：菅家實（高4回）、伊藤俊郎（高12回）

- 実施 平成20年（2008）9月23日（日） 参加：23名
- コース 西武池袋線飯能駅⇒巾着田曼殊沙華公園⇒飯能駅
- 特徴 地面を覆い尽くす、ヒガンバナが、大地を真っ赤に染め上げる情熱的な景色光景が汪巻である（右写真）。



### 第11回 皇居 東御苑 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実施 平成21年（2009）11月23日（祝日） 参加：21名
- コース 東京駅⇒和田倉門⇒会津藩上屋敷跡⇒東御苑⇒天守台跡⇒北公園⇒靖国神社⇒桜田門⇒東京駅
- 特徴 会津藩保科正之公が江戸明暦の大火で江戸城天守閣が焼失した時に、城の再建をせず資金を民衆のために使った美談が、今も天守台として今に残る。



### 第12回 箱根 金時山 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実施 平成22年（2010）11月21日（日） 参加：8名
- コース 小田原駅⇒仙石原登山口⇒金時山⇒仙石原⇒小田原
- 特徴 甲子園出場の代島行信氏の金時山登頂3000回の記念登山。



### 第13回 小江戸 川越 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実施 平成23年（2011）11月20日（日） 参加：17名
- コース 西武新宿線本川越駅⇒喜多院⇒本丸御殿⇒菓子屋横



日光と久能山と3大の仙波東照宮の拝殿前で

丁⇒時鐘⇒本川越

- 特 徴 会津美里町出身の天海僧正（108歳）が喜多院を命名。徳川3代の将軍に仕える。

#### 第14回 昌平坂・谷根千・上野 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実 施 平成24年（2012）11月11日（日） 参加：22名
- コース お茶の水駅⇒昌平坂学問所⇒湯島聖堂⇒根津神社⇒森鷗外記念館⇒慶喜公墓地⇒寛永寺⇒彰義隊慰霊⇒西郷銅像⇒JR上野駅
- 特 徴 昌平坂学問所は会津藩秋月悌次郎が11年間学び寮長を務めて、全国各藩士と知友となり、そのことが後に会津藩を救うことになる。晩年は熊本五高教授。



#### 第15回 浜離宮-増上寺-会津藩下屋敷-興禅寺 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実 施 平成25年（2013）11月10日（日） 参加：26名
- コース JR新橋駅⇒浜離宮⇒愛宕山⇒増上寺⇒会津藩下屋敷⇒興禅寺
- 特 徴 浜離宮は容保公が慶喜公に従い大阪から戻った時の上陸地。会津藩中屋敷は汐留、会津藩下屋敷は三田の慶應女学校内にある。興禅寺は家老萱野権兵衛の墓地。



#### 第16回 横須賀・会津人墓地・観音崎 幹事：伊藤俊郎（高12回）、天野康弘（高29回）

- 実 施 平成26年（2014）11月9日（日） 参加：18名
- コース 京急逗子駅⇒鷹取山⇔横須賀港⇒馬堀海岸⇒会津人墓地⇒観音崎⇒京急浦賀駅
- 特 徴 日露戦争の戦艦三笠の雄姿。会津若松と姉妹都市の横須賀には三浦半島を警備した会津藩士の墓地がある。また米国ペリ-の来航の史跡が多く興味深いところ。



#### 第17回 筑波山 幹事：伊藤俊郎（高12回）

- 実 施 平成27年（2015）11月8日（日）雨天4名参加で  
平成28年（2016）11月7日（日）再トライ 参加：14名。
- コース つくば駅⇒筑波神社前登山口⇒女体山⇒男体山⇒つくば駅。
- 特 徴 水戸天狗党が決起した所。西の富士に東の紫峰筑波山



#### 第18回 旧東海道 品川宿から大森宿まで歩く 幹事：伊藤俊郎（高12回）、佐々木由喜雄（高21回）

- 実施日 平成29年（2017）10月4日（日） 参加：15名
- コース JR品川駅⇒旧品川宿⇒品川神社⇒坂本龍馬像⇒品川水族館⇒大森駅
- 特 徴 東海道中の旅籠の賑わいと歴史を感じさせるところ。品川神社には、戊辰戦争で会津を攻めた自由民権運動の板垣退助の墓がある。また歌手島倉千代子の墓がある。



#### 第19回 高尾山 幹事：伊藤俊郎（高12回）、佐々木由喜雄（高21回）

- 実施 平成30年（2018）10月11日（日） 参加：10名
- コース 京王山口駅⇒仏舎利塔⇒薬王院⇒高尾山（599m）
- 特徴 世界のハイキングコース。

**第20回 近藤勇生家・深大寺** 幹事：伊藤俊郎（高12回）、間部英司（高28回）

- 実施 令和元年（2019）11月23日（日） 参加：14名
- コース 京王飛田給駅⇒近藤勇生家⇒深大寺神代植物園⇒ゲゲゲの鬼太郎街⇒京王調布駅
- 特徴 深大寺は四季を通じてたのしめる。近藤勇生家と墓地は会津人として必見である。

**第21回 奥多摩むかし道を歩く** 幹事：伊藤俊郎（高12回）、西澤重雄（高21回）

- 実施 令和2年（2020）11月8日（日） 参加者：7名
- コース 奥多摩駅⇒むかし道⇒樹齢200年槐の樹⇒奥多摩ダム⇒奥多摩湖⇒奥多摩駅
- 特徴 200年の歴史ある古道はアンジュレーションに富む家族的な癒しのハイクコース。



樹齢200年槐の樹



小河内ダムと奥多摩湖

## 【囲碁大会】

会津の地で盛んな囲碁会を在京同窓会でも開催し、会員の楽しみの場にしたいとの思いから伊藤俊郎氏（高12回卒）が企画した催事で、第1回「親睦囲碁大会」は、平成25年（2013）7月10日に新宿駅南口にある新宿囲碁センターで開催した。

### 第1回

- ① 実施日 平成25年7月10日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 21名
- ③ 成績 優勝 坂内孝成（高8回）、2位 佐藤公央（高14回）、3位 古川隆治（高15回）
- ④ 特記事項 坂内さんは全勝優勝。  
最高齢の参加者は、中学52回卒の山内佐善さん。

### 第2回

- ① 実施日 平成26年7月21日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 22名
- ③ 成績 総合優勝 坂内孝成（高8回）、2位 佐藤公央（高14回）、3位 高瀬熙一郎（高4回）、鈴木聡一（高12回）
- ④ 特記事項 A組からD組の優勝者のうち坂内さんと佐藤さんが全勝で同率となったが、この場合の勝者は、卒業年次順とする内規により坂内さんが総合優勝。坂内

さんは2連覇。

### 第3回

- ① 実施日 平成27年7月20日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 21名
- ③ 成績 総合優勝 加藤隆夫（高11回）
- ④ 特記事項 A組からD組の優勝者のうち3人が全勝で同率となったが、この場合の勝者は卒業年次順とする内規により加藤さんが総合優勝。

### 第4回

- ① 実施日 平成28年7月21日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 21名
- ③ 成績 総合優勝 山田泰次（高20回）
- ④ 特記事項 山田泰次さんは、A組からD組の優勝者のうち、全勝での最高勝率者。



第4回大会参加者の面々ならびに対局風景

### 第5回

- ① 実施日 平成29年7月17日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 19名
- ③ 成績 総合優勝 坂内孝成（高8回）
- ④ 特記事項 A組からD組の優勝者のうち3人の勝率が同率となったため、卒業年次順の内規により坂内さんが「総合優勝」となった。坂内さんは3回目の優勝。

### 第6回

- ① 実施日 平成30年10月8日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 17名
- ③ 成績 総合優勝 山田陽國（高14回）
- ④ 特記事項 山田陽國さんは、A組からD組の優勝者のうち、全勝での最高勝率者。

### 第7回

- ① 実施日 令和元年10月6日 幹事：早坂嘉朗（高14回）
- ② 参加者 15名
- ③ 成績 総合優勝 山田泰次（高20回）
- ④ 特記事項 山田泰次さんは、全勝での最高勝率者。第4回大会の総合優勝について2回目の総合優勝。

### 第8回

令和2年の囲碁大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止。

## 【麻雀大会】

第一回麻雀大会は平成5年に開催されました。

麻雀大会実行委員長五十嵐隆氏（高1）のもと、新宿「葵」にて第24回大会まで開催されました。「葵」閉店後は、会場を変更して神田「ゴースタアネックス」で開催されております。

なお、第24回大会から実行委員長は芳賀克己氏（高16）が担当している。

### 在京会津高校新春麻雀大会

大会	開催日	開催場所	人数	優勝者
第16回	平成20年1月19日	新宿「葵」	16人	武藤正徳（高7回）
第17回	平成21年1月17日	新宿「葵」	20人	芳賀克己（高16回）
第18回	平成22年1月16日	新宿「葵」	20人	鈴木尚（高31回）
第19回	平成23年1月15日	新宿「葵」	12人	芳賀徳雄（高18回）
第20回	平成24年1月14日	新宿「葵」	16人	古川隆治（高15回）
第21回	平成25年1月19日	故川島会長のお別れ会と重なったため休止		
第22回	平成26年1月18日	新宿「葵」	16人	芳賀克己（高16回）
第23回	平成27年1月17日	新宿「葵」	16人	佐野忠義（高9回）
第24回	平成28年1月16日	新宿「葵」	20人	芳賀克己（高16回）
第25回	平成29年1月21日	神田「ゴースタアネックス」	22人	新国勝昭（高16回）
第26回	平成30年1月20日	神田「ゴースタアネックス」	17人	山口大三郎（高15回）
第27回	平成31年1月19日	神田「ゴースタアネックス」	21人	横山新一（高19回）
第28回	令和2年1月18日	神田「ゴースタアネックス」	20人	山口大三郎（高15回）
第29回	令和3年1月16日	コロナ禍のため休止		

特記事項：第27大会から会津女子高校OGが参加



平成29年麻雀大会



令和2年麻雀大会

麻雀大会担当幹事：新国勝昭（高16回）、丸山勇一（高16回）、山崎徹（高16回）、  
小野彰（高19回）、菅家敏之（高22回）、鈴木尚（高31回）

## 【世代交流会】

### 開催趣旨

先輩後輩の間で仕事、趣味、人生等の面で有意義な話、情報を交換、交流する場を作り、若い世代の会員にとって魅力とメリットが感じられる活動を行おうという大越会長の発意で始められた。

### 開催状況

開催回	開催日	会場	参加	特記事項等
第1回	平成27年1月29日	グランドヒル市ヶ谷	37名	高7～高53回卒まで幅広い層から参加。 佐藤学氏（高25回）のミニ講演「日航再生よもやま話」 幹事：鈴木秀典(高17回)、佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)
第2回	平成27年8月27日	グランドヒル市ヶ谷	21名	高6～高53回卒者が参加。 佐藤光利氏（高27回）のミニ講演「地球の周りはおみだらけ」 幹事：鈴木秀典(高17回)、佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、加藤剛史(高53回)
第3回	平成28年1月28日	グランドヒル市ヶ谷	33名	年2回実施を年1回に変更。原則、1月下旬に開催し、 賀詞交歓会を兼ねることとした。中51～高60回卒まで 参加、年齢差はなんと60歳。女性参加者もあり。ミニ 講演に替え各自の1分間スピーチ制へ 幹事：鈴木秀典(高17回)、佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、加藤剛史(高53回)
第4回	平成29年1月25日	グランドヒル市ヶ谷 別館東京閣	40名	一般会員の参加費4000円化、会高卒15年内の若手会員 はその半額化。 幹事：鈴木秀典(高17回)、佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、加藤剛史(高53回)
第5回	平成30年1月24日	グランドヒル市ヶ谷 別館東京閣	28名	参加費の学割制（1000円）を導入するも学割参加者なし。 中51～高62回卒者が参加。女性参加者も2名。同窓 会事務局に移動して二次会を実施。 幹事：佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、加藤剛史(高53回)
第6回	平成31年1月19日	グランドヒル市ヶ谷 別館東京閣	17名	高10～高64回卒者が参加。同窓会事務局に移動して二次会 を実施。 幹事：佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、鈴木奈奈(高61回)
第7回	令和2年1月22日	グランドヒル市ヶ谷 別館東京閣	22名	高12～高69回卒まで幅広い層から参加。3名の女性参加者。 幹事：佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、二戸弘幸(高33回)、芦澤理恵子(高64回)
第8回	令和3年1月26日グランドヒル市ヶ谷別館東京閣の予定が新型コロナウイルス禍のため中止 幹事：佐藤学(高25回)、佐藤光利(高27回)、芦澤理恵子(高64回)			



第5回世代交流会(2018年)



第7回世代交流会(2020年)

## 【会津若手人材育成塾】

本企画は、在京会津高校同窓会として、会津関係の学生並びに若手社会人の今後の人生に役に立ちたいとの大越康弘会長の思いを踏まえ、平成29年に三部構成のセミナー方式でスタートし、これまでに4回実施した。第3回まではホテルグランドヒル市ヶ谷にて開催し、第一部において、学識・経験豊かな会津出身社会人による経済・社会動向、今後のキャリア設計、就職活動、生き方等についての講演を実施。第二部は懇談会とし、参加者が3グループに分かれて学生生活、就職、人生等について相談・意見交換を行った。第三部では、場所を市ヶ谷の同窓会事務所に移して懇親会を実施した。第4回目は新型コロナ禍の中、オンラインで講演会のみで開催となった。

なお、本企画は若者のニーズに合致せず、参加者が減少しているため一旦終了し、若者向けの企画を別途検討することになった。

### 第1回会津学生・若手社会人セミナー

- ① 催行月日 平成29年10月8日
- ② 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- ③ 参加者 学生12名、若手社会人7名、社会人8名、事務局8名の計35名
- ④ 講師及び演題
  - ・福田徹氏(高13回)「企業が求める人材」
  - ・目黒公郎氏(高33回)「人生における学生時代の意味とその時代に認識しておくべきこと」
  - ・本田勝之助氏(高45回)「都市と地方の仕事と暮らし」
- ⑤ 幹事 平山信次(高19回) 目黒公郎(高33回) 久住川順一(高39回) 永井宏志郎(高61回)

### 第2回会津学生・若手社会人セミナー

- ① 催行月日 平成30年5月19日
- ② 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- ③ 参加者 学生9名、若手社会人2名、社会人6名、事務局8名の計25名
- ④ 講師及び演題
  - ・佐藤学氏(高25回)「想えば叶う、運命は変えられる！」
  - ・山寺純氏(高39回)「Competing on the Edge」



山寺純氏講演の様様

(辺境で生きる)」

・渡部充氏 (高40回) 「人事から見た就活へのアドバイス」

⑤ 幹事 平山信次 (高19回) 目黒公郎 (高33回) 久住川順一 (高39回) 永井宏志郎 (高61回)

### 第3回会津若手人材育成塾

セミナーの目的を学生の就活支援重視から若手(含学生)のキャリア形成支援重視に変更したことに伴い、セミナーの名称を「会津若手人材育成塾」に変更。

- ① 催行月日 令和元年10月26日
- ② 場所 ホテルグランドヒル市ヶ谷
- ③ 参加者 学生4名、若手社会人4名、社会人9名、事務局8名の計25名

④ 講師及び演題

・沖井尊子氏 (高57回) 「私の就職活動と、サポロビールでの仕事」

・江川新一氏 (高33回) 「学びの船に舵枕」

・市村尊広氏 (福島県会津地方振興局) 「会津地方創生について」

⑤ 幹事 平山信次 (高19回) 佐藤清美 (高28回) 目黒公郎 (高33回) 久住川順一 (高39回) 北澤美恵 (高61回)



第3回グループ討議風景

### 第4回会津若手人材育成塾

- ① 催行月日 令和2年11月15日
- ② 開催方法 Zoomによるオンライン講演会
- ③ 参加者 学生1もしくは0名、若手社会人3名、社会人19名、事務局11名の計34名  
——シニア社会人の関心が高く参加者が増えた一方、若手の参加が急減した。

④ 講師及び演題

・二戸弘幸氏 (高33回) 「キャリアの築き方/仕事・給料・やりがい」

・渡部恒雄氏 (高34回) 「米国大統領選挙と日本の戦略」

・猪俣英希氏 (高59回) 「学生の皆さんに伝えたい、就活・社会人の経験から学んだこと」

⑤ 幹事 平山信次 (高19回) 佐藤清美 (高28回) 目黒公郎 (高33回) 久住川順一 (高39回) 沖井尊子 (高57回) 星英樹 (高59回) 永井宏志郎 (高61回) 高倉洸介 (高66回)

## 【現役員】

### 在京会津高校同窓会役員

令和3年4月

#### (総会人事)

会長	大越 康弘	(再)	(高13回)	副幹事長	佐藤 清美	(再)	(高28回)
副会長	佐々木 毅	(再)	(高13回)	〃	二戸 弘幸	(再)	(高33回)
〃	大平 隆司	(再)	(高15回)	〃	冬木(芦澤)理恵子	(再)	(高64回)
〃	芳賀 克己	(再)	(高16回)	会計	早坂 嘉朗	(再)	(高14回)
〃	荒井 伸吉	(再)	(高17回)	〃	丸山 健治	(再)	(高23回)
幹事長	鈴木 忠正	(新)	(高15回)	〃	星 英樹	(新)	(高59回)
副幹事長	佐藤 学	(再)	(高25回)	監査	廣田 潔	(再)	(高19回)
〃	佐藤 光利	(再)	(高27回)	〃	金田 大作	(新)	(高26回)

#### 担当役員・常任幹事(会長委嘱)

総務委員長	小野 彰	(高19回)	囲碁	早坂 嘉朗	(兼)	(高14回)	
講演会	窪田 茂	(高26回)	若手人材	平山 信次		(高19回)	
〃	富田 稔	(高27回)	育成塾	佐藤 清美	(兼)	(高28回)	
〃	二戸 弘幸	(兼)	(高33回)	〃	目黒 公郎	(高33回)	
歴史探訪の旅	大平 隆司	(兼)	(高15回)	〃	久住川順一	(高39回)	
〃	鈴木 忠正	(兼)	(高15回)	〃	星 英樹	(兼)	(高59回)
〃	渡部 秀一	(高17回)	〃	〃	永井宏志郎	(高61回)	
〃	渡部 潔	(高26回)	〃	〃	高倉 洗介	(高66回)	
ゴルフ	佐藤 学	(兼)	(高25回)	広報委員長	上野 克彦	(高16回)	
〃	二瓶 満	(高45回)	会報委員	丸山 健治	(兼)	(高23回)	
芋煮会	佐藤 浩	(高16回)	HP委員	佐藤 光利	(兼)	(高27回)	
〃	小野 彰	(高19回)	〃	〃	二瓶 満	(兼)	(高45回)
歩こう会	齋藤 仁	(新)	(高20回)	組織委員長	佐藤 学	(兼)	(高25回)
〃	間部 英司	(高23回)	委員	佐藤 光利	(兼)	(高27回)	
麻雀	芳賀 克己	(兼)	(高16回)	〃	二戸 弘幸	(兼)	(高33回)
〃	鈴木 尚	(高31回)	〃	〃	冬木(芦澤)理恵子	(兼)	(高64回)

## 【会則】

### 在京会津高等学校同窓会会則

平成26年4月20日改正

平成27年4月19日改正

平成29年4月16日改正

#### 第1章 総 則

- 第1条 本会は、在京会津高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会は、会員相互の親睦を密にすると共に併せて母校の隆盛を図ることを目的とする。本会の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会報、名簿、その他出版物の発行
  2. その他本会の目的を達成するために必要な事業
  3. 上記事業を行うために、委員会を設けることが出来る。
- 第3条 本会の事務局を東京都新宿区市谷田町1-1ATビル8階におく。
- 第4条 本会の会員は、東京都及びその近郊に在住する者で、次の各項の一に該当する者とする。
1. 旧会津中学校を卒業した者
  2. 会津高等学校を卒業した者
  3. 旧会津中学校4年修了後、上級学校に進学した者
  4. 中途退学者で、役員会の議決を経て会長の承認を得た者

#### 第2章 役員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
1. 会長 1名
  2. 副会長 若干名
  3. 相談役 若干名
  4. 幹事長 1名

- 5. 副幹事長 若干名
- 6. 常任幹事 若干名
- 7. 幹事 若干名
- 8. 監査 2名
- 9. 会計 3名

第5条の2 総会の議決により、本会の発展に多大の功績があった会長経験者に対し、名誉会長の称号を贈ることができる。

第6条 会長、副会長、幹事長、副幹事長、監査及び会計は、会員中から総会で選出する。

第7条 相談役は、役員会の推薦を受け、会長が委嘱する。

常任幹事は、各卒業年度の幹事中から会長が委嘱する。

幹事は、卒業年度ごとにその会員中から会長が委嘱する。

第8条 役員は、任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

期中の途中に役員になった者の任期は、現任者の残任期間とする。

第9条 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

幹事長は、会長の下に、会務の業務全般を遂行する。

副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長事故あるときはその職務を代行する。

相談役は、会長の諮問に応じ、役員会に出席して意見を述べるができる。

常任幹事は、会長の命を受け会務を担当する。

幹事は、会長の命を受け会務に参画する。

監査は、本会の会計及び財務について監査し、総会に報告する。

会計は、本会の会計を処理する。

### 第3章 会議

第10条 本会は年1回総会を開き、会務を報告し、本会の運営に関する基本事項について議決する。

但し、必要に応じ臨時総会を開くことができる。

第11条 1. 役員会は必要に応じ会長が召集する。

2. 役員会は重要な会務につき協議する。

3. 役員会は総会なき場合に限り総会に代わる議決をすることができる。

但し、この場合は次の総会で報告するものとする。

### 第4章 会計

第12条 本会の経費は会費、寄付金及びその他の収入を以て充てる。

会費は年度会費、総会費及び臨時会費とする。

年度会費の金額は総会で定めることとし、会員は年度会費を拠出し、本会の発展に

協力する。尚、年度会費を纏め、終身会費として拠出することが出来る。

その会費は、総会で定めることとする。

第13条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31に終わる。

### 第5章 付則

第14条 本会の会則を改正しようとするときは総会の議決を経なければならない。

以上

付則事項 年度会費を金3,000円とする。なお、終身会費は50,000とする。

## 編集後記

在京会津高校同窓会70周年記念誌の作成は、同55周年記念誌をうけて佐々木毅副会長（高13回）の提案から始まった。記念誌編集という経験のないテーマに、話を聞いたときは大変動揺したが、佐々木副会長が構成案をお作りになっておられたので全面的にこれに頼った。55周年記念誌はB5縦組みだが、70周年記念誌はA4横組みにした。これは編集にかかわる方々の意見により決めた。

同窓会全体の動きは、会報の発行以来の全号がホームページにありこれを参考にしたが、事務所の移転や東日本大震災に係る活動については、経緯を知るご長老のご意見によりまとめることが出来た。お礼申し上げます。

会報のトップページに掲載されている写真を転載したが、53号（平成27年（2015））まではモノクロでカラーになったのは54号（平成28年（2016））からであるが、撮影者の吉川直佑氏（高13回）のご協力ですべてカラーで掲載することができた。

各催事活動の原稿も執筆者各位のご協力により、こちらが想像した以上に早くご提出いただき、総ページ数の見込みが早くできたことは非常に助かった。平成18年（2006）以前の活動状況を寄せていただいた催事もあったが、55年記念誌を引き継ぐとの趣旨より割愛いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。次第です。

上野克彦（高16回）

## 70周年記念誌発行にご協賛いただいた方々

協賛金にご協力賜り、心より感謝申し上げます。

菅 家 実 (高4回)	冠 木 敬一郎 (高15回)	齋 藤 仁 (高20回)
東 条 榮 吉 (高5回)	鈴 木 忠 正 (高15回)	室 井 英 勝 (高20回)
川 口 雪 夫 (高6回)	新 井 田 傳 (高15回)	鈴 木 行 生 (高21回)
加 藤 仁 (高7回)	二 瓶 東 洋 (高15回)	福 田 喜 正 (高21回)
五十嵐 隆 雄 (高8回)	山 口 大 三 郎 (高15回)	丸 山 健 治 (高23回)
大 槻 博 (高8回)	上 野 克 彦 (高16回)	石 田 護 朗 (高24回)
菊 池 良 輝 (高8回)	内 田 幾 雄 (高16回)	高 畑 圭 吾 (高24回)
兼 子 八 郎 (高10回)	小 野 雄 二 (高16回)	佐 藤 学 (高25回)
五十嵐 久 芳 (高12回)	芳 賀 克 己 (高16回)	金 田 大 作 (高26回)
伊 藤 俊 郎 (高12回)	丸 山 勇 一 (高16回)	窪 田 茂 (高26回)
小 野 成 明 (高12回)	山 崎 徹 (高16回)	齋 藤 晃 一 (高26回)
小 荒 井 東 夫 (高12回)	荒 井 伸 吉 (高17回)	渡 部 潔 (高26回)
高 橋 千 代 丸 (高12回)	山 寺 清 蔵 (高17回)	佐 藤 光 利 (高27回)
吉 井 恒 夫 (高12回)	渡 部 慎 二 (高17回)	桜 木 秀 樹 (高28回)
伊 東 巖 (高13回)	西 澤 重 雄 (高18回)	佐 藤 清 美 (高28回)
大 越 康 弘 (高13回)	小 野 彰 (高19回)	高 橋 正 一 (高28回)
佐 々 木 毅 (高13回)	國 井 勝 俊 (高19回)	米 森 公 彦 (高31回)
軒 澤 力 (高14回)	名 古 屋 幹 夫 (高19回)	宮 森 俊 樹 (高34回)
早 坂 嘉 朗 (高14回)	平 山 信 次 (高19回)	小 熊 慎 司 (高39回)
山 田 陽 國 (高14回)	廣 田 潔 (高19回)	冬 木 理 恵 子 (高64回)
大 平 隆 司 (高15回)	横 山 新 一 (高19回)	

(敬称略。令和3年9月10日現在)

在京会津高校同窓会創立 70 周年記念誌

発行 令和 3 年 (2021) 9 月  
発行者 在京会津高校同窓会  
編集長 上野 克彦 (高 16 回)  
編集 大越 康弘 (高 13 回)  
佐々木 毅 (高 13 回)  
早坂 嘉朗 (高 14 回)  
鈴木 忠正 (高 15 回)  
小野 彰 (高 19 回)

在京会津高校同窓会事務局

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町 1-1 ATビル 8 階

電話番号 03-5261-0102

FAX 03-6411-5460

メール aizuko-doso@aizu.or.jp

URL <http://zaikyo-aizu.sakura.ne.jp/>